1　国語

| 学校番号 | ４１７ |
|---|---|

平成 31 年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 現代文Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新編現代文Ａ」　（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 「表覧演習　新常用漢字　基礎編」（京都書房） | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ

・2 年生では 1 年生で身に付けた基礎的な力を基に、社会人に必要となる国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・近代以降の様々な文章を読むことによって「読む能力」を向上させるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めましょう。
・適切なコミュニケーションをとるための「話す・聞く能力」や意思を文章にまとめ、伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・担当者からの指示をよく聞き、提出物の期限は守りましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:読む能力 | c:知識・理解 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 | | |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシート等） | 記述の確認及び分析（ワークシート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査<br>小テスト | | |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | | | | |
| 1学期 | 新しい発見 | 【近代以降】<br><br>教材:<br>「なぜ“コロンブスの卵”を描くのか」 | ○ | ◎ | ○ | | | a:文章の流れをつかみ、基礎的な読解方法を身に付ける。<br>b:文章の構成や筆者の主張を的確に理解する。<br>c:人間に備わる「想像する力」の重要性について、自己の生き方に引き付けて考える。 | a:行動の観察と確認<br>b:記述の確認及び定期考査<br>c:定期考査 |
| | 言語と文化 | 【近代以降】<br><br>教材:<br>「数え方で磨く日本語」 | ○ | ◎ | ○ | | | a:随想的な要素を持つ評論の読み方を身に付ける。<br>b:筆者が述べる日本人の「数え方」について理解する。<br>c:日本人の「数え方」の特色や効果を理解する。 | a:行動の観察及び記述の点検<br>b:記述の確認及び定期考査<br>c:定期考査 |
| | 小説を読む | 【近代以降】<br><br>教材:「デューク」 | ○ | ◎ | ○ | | | a:現代小説のおもしろさを味わい、読解の仕方を身に付ける。<br>b:登場人物の心情や小説の仕掛けを意識しながら、全体の構成をつかむ。<br>c:作品の主題を理解し、人生に対する見方を深める。 | a:行動の観察<br><br>b:記述の確認及び定期考査<br><br>c:定期考査 |
| 2学期 | 小説を読む | 【近代以降】<br><br>教材:「山月記」 | ○ | | ◎ | | | a:すぐれた短編小説の持つ緊密な構成を理解し、鑑賞法を身に付ける。<br>c:漢文学を駆使した独特の表現を理解する。 | a:行動の観察と確認<br><br>c:定期考査 |
| 2学期 | 人間と文化 | 【近代以降】<br><br>教材:<br>「コミュニケーションの文化」 | ○ | | ◎ | | | a:随想的な要素を持つ評論の読み方を身に付ける。<br>c:国や民族によってコミュニケーションの文化に違いが生じることについて理解を深める。 | a:行動の観察及び記述の点検<br>c:記述の確認及び定期考査 |
| | 人生の風景 | 【近代以降】<br><br>教材:<br>「出島のチューリップ」 | ○ | | ◎ | | | a:随想の読解の仕方を身に付ける。<br>c:文章の構成の特徴について理解する。 | a:行動の観察<br><br>c:記述の点検と確認及び分析 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 小説を読む | 【近代以降】<br><br>教材:<br>「鼻」 | ○ | ○ | ◎ | | | a:近代の代表的な短編小説を読解する。<br>b:登場人物の人物像やその心理描写に着目して小説を読解する。<br>c:小説世界を自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。 | a:行動の観察及び記述の点検<br>b、c:<br>記述の確認と分析及び定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。